

## 令和 2 年度基本活動にあたり

令和 2 年度の活動基本方針の策定にあたり、先ずは昨年の台風や河川氾濫などの未曾有の自然災害で被災し、住み慣れた家からの避難を余儀なくされ、未だ困難な生活を強いられている方々に、一日も早く安心できる日々が戻ってくることを願います。

さて、昨年の国内個人消費の基調は、消費税増税の影響も重なりとても弱く、こうした国内景気の足取りの重さや、米中貿易摩擦の長期化の影響による世界経済の減速感から、企業業績も力強さに欠く状況が続きました。

今年は東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド需要が高まり、個人消費が上向くことに期待はあったものの、昨年 12 月より中国で発生した新型コロナウイルス感染の急速な拡大により、不要不急の外出の自粛、学校の臨時休校、イベントの開催自粛など、私たちの社会生活に多大なる支障が生じるようになり、今現在、期待が裏切られる結果となっています。

本会においても、3 月以降のセミナールーム内や外部で開催する通学講座、セミナーを中止または延期とし、大きな損害を被ることになりました。また、新型コロナウイルス感染拡大による影響がいつまで続くか見通せない状況が続き、世界経済、日本経済の減速には拍車がかかり、リーマンショックを超える金融危機が来るのではないかと騒がれています。

暗雲が垂れ込め、誰もが予測できない 2020 年となりましたが、一般社団法人 全日本動物専門教育協会は、どんな状況下におかれようがぶれることなく、設立当時の理念である、教育という観点から人と動物が共生できる調和のとれた真の社会づくりに貢献していきます。

そのためには、昨年度の活動で取り組んだ「将来を見据えた組織づくり」を基盤に、財政基盤を更に固め、社会情勢を見極めながらも現場起点で教材の開発や資格制度の創設、そしてそれらを活かせ、活躍できる環境を新たに整備し、人とペットの安心、安全、幸せな暮らしの実現に向け、その社会を牽引する人材の育成に挑戦してまいります。

一般社団法人 全日本動物専門教育協会  
理事長 大橋 教正